

6/2 朝日

## 難民問題 改めて人権の視点を

医師

(東京都 66)

難民受け入れのハードルを上げる  
入管難民法改定の方向性に異議を唱  
えたい。法案に関連して、入管施設  
で死亡した被収容者に根拠のない発  
言を繰り返して参院法務委員会を更迭  
された国会議員や、参考人招致で  
「申請者の中に難民はほとんどないな  
い」と発言して問題視された難民審  
査参与員など、関係者や権限を持つ  
方の中にヘイトにも似た居丈高な論  
理、理不尽な偏見があるのでない  
かと感じる。

難民認定を求める外国人の中に、  
不純な動機や悪意を持った人や、客

観的に難民と当たらない方もいたか  
も知れない。しかし難民問題は、た  
とえ少數であっても、守らなければ  
ならない人権を漏らさず拾い上げる  
ことを目標とすべきである。一部で  
あらうしも、日本が手を差し伸べな  
ければ、人権あるいは命さえ守るこ  
とができるない、そういう方々を見逃  
さず、寄り添つて考えることが基本  
思想でなければならない。

難民の人権を軽視する社会は、そ  
れ以外の少数者や弱者、ひいては普  
通の市民の人権も守れない。人権と  
いう切り口で、「国民一人一人が自ら  
に引き寄せることの問題を考え、声を  
上げることが必要ではないか。